

# 日本第四紀学会講演要旨集の原稿作成用テンプレート

田中太郎(○○大)・木村花子(△△研)

Taro TANAKA, Hanako KIMURA: Title in English is written by 10 pt. Times New Roman without the left and right indentation

## 1. はじめに

これは第四紀学会講演要旨集の原稿の見本です。原稿の作成は、このテンプレートにご自分で準備されたテキストや図等を上書きする、もしくは以下の書き方に沿って原稿を作成してください。なお、余白、文字の配置、書体、およびフォントサイズ以外は厳密な統一は求めません。この見本はWindows OS上のMicrosoft Wordで作成していますが、それ以外のOSやソフトをご使用の場合は、おおよそ同じような体裁になるように作成をお願いいたします。

## 2. 全体のレイアウト

要旨は**1つの発表につきA4サイズ1ページ**です。図表の挿入も可能です。また、図の縮尺については「何分の1」という表現はせずに必ずスケールを入れて下さい。

タイトルと著者名以外は**2段組み**で、外側の余白は**左右各25 mm、上下各25 mm**です。英文タイトルと本文の間に**空白行を一行**入れてください。和文著者名の後の所属は簡潔に書いて下さい(例:○○大, △△研など)。英文著者名の後ろに所属はいりません。

本テンプレートに示したタイトルの字数・著者構成・図表無しの場合、本文の文字数は約2050字となります(各行21文字×98行)。本テンプレートは各章の間にも空白行を入れてありますが、字数によって適宜調整してください。

## 3. 書体と配置

・**文字のスタイル** 和文タイトルは12ポイント(1ポイントは0.3527 mm)、和文著者名は10ポイントでいずれもゴシック書体で、太字にせず、中央揃えで書いて下さい。サブタイトルがある場合はタイトルの下に改行してタイトルと同じ書体としてください。英文タイトルはTimes New Romanの10ポイントとしてください。

**本文は10ポイントでゴシック書体**とします。小見出しがある場合は10ポイントで太字のゴシック書体として、その頭につける番号等に制限はありません。箇条書きのスタイル(左インデントの幅等)も自由です。

文章中の**強調文字**、**斜字**、**下線**、上付き下付き等は適宜使用していただいて問題ありません。行間隔は原稿全体で通常通りの「1行」として下さい。句読点のスタイルは自由です(この文章は「、」と「。」で書いていますが「、」「。」でも問題ありません)。

・**引用文献** 文献の引用法は、第四紀研究の論文執筆要領に従ってください。原稿のスペースが足りない場合は、本テンプレートの最後のように簡略表記とすることも可能です。字体は10ポイントのゴシック書体で見出し(「引用文献」)部分だけ太字とします。

・**テンプレートへの上書きについて** 本テンプレートに他で下書きした原稿を貼りつける場合、コピー元の書

式を含んだままで上書きすると見本の書式が変更されてしまいます。上書きは「形式を選択して貼り付け」→「テキスト」(Microsoft Wordの例)の順で行い、その後に太字等の処理を加えてください。

## 3. 原稿の提出方法

原稿は**PDFに変換**して、投稿用サイトから提出してください。PDFファイルの題名は「筆頭発表者名.pdf」としてください。この原稿の場合は「田中太郎.pdf」となります。

**引用文献:**佐藤・鈴木(2014)第四紀研究, 99, 10-20.  
Sato & Suzuki (2014) *Quatern. Res.* 99, 30-40.

図.X タイトル(中央揃え)

図がある場合  
文は両端揃え  
図を上★目  
を調整(縮小  
組みを跨いだ